

外観



志高館は地下1階、地上3階建ての建物で、ほかのキャンパスの校舎と同様に、外壁はレンガ張りとなっている。

サンクンガーデン



入口を入ると現れるサンクンガーデンは、館内に光や風を取り込む役割を担う。ラウンジやカフェにつながり、学生の憩いの空間となっている。

女性トイレ 大便器コーナー



大便器ブースの扉と間仕切りを天井まで立上げ、個室感を高めるとともに、防犯対策を図っている。

女性トイレ 大便器ブース



すべての大便器ブースに、床の清掃性に優れた壁掛大便器を採用し、2度流しを防止する音姫(擬音装置)機能を搭載したウォシュレットPを完備。女性トイレには、安全対策として非常ボタンを取り付けている。

トイレ入口



多機能トイレの入口には、車いす使用者とオストメイトに対応していることを表すサインを掲示している。

多機能トイレ



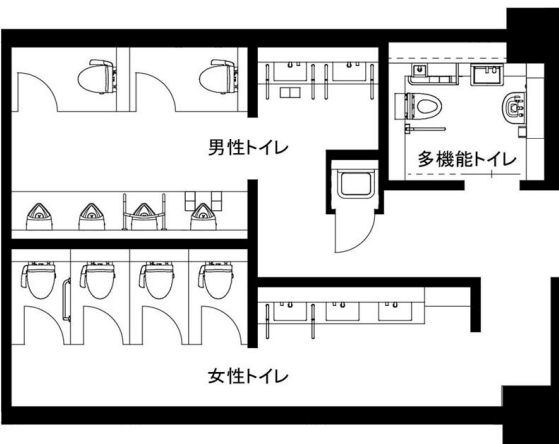
すべてのフロアに多機能トイレを設置。車いす使用者やオストメイトに配慮し、オストメイト対応マルチバックを備えたRESTROOM ITEM 01の多機能トイレパックを採用している。

男性トイレ 大・小便器コーナー



床の清掃性に優れた壁掛式の大便器と小便器を採用。男性トイレにも音姫(擬音装置)機能を搭載したウォシュレットPを設置し、2度流しを防止している。

トイレ図面



女性トイレ 洗面コーナー



水濡れを心配せずに手荷物を置くことができる、ツインデッキカウンターを採用している。

女性トイレ パウダーコーナー



落ち着いてお化粧直しができるように、洗面コーナーの横にパウダーコーナーを設置している。

建築概要

名 称	同志社大学 烏丸キャンパス 志高館
所 在 地	京都市上京区烏丸通上立売上る 相国寺門前町647-20
施 主	学校法人同志社
設 計	同志社大学今出川キャンパス整備設計 共同企業体
施 工	株式会社大林組
竣 工 年 月	2012年10月

水まわりの特長

<建物の特徴>

同志社大学では、文系学部教育施設を京都市内に統合させるために、2012年10月に京都市から譲り受けた産業技術研究所繊維技術センター跡地に烏丸キャンパスを開校。大学院総合政策科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、グローバル地域文化学部、国際教育インスティテュートの教育を展開しており、同志社大学の「国際主義」を象徴するキャンパスとして位置づけられている。

烏丸キャンパスの開校と同時に竣工した新校舎の志高館には、教室、研究室、オープン自習室、ラウンジ、ラーニング・スタジオなどを完備。館名は、同志社大学の創立者・新島襄が記した「同志社大学設立ヲ要スル主意」の文中の言葉に由来している。

<トイレの特長>

男女トイレともに、すべて洋式便器を設置。環境に配慮して、6L洗浄の節水便器を採用し、2度流しを防止する音姫(擬音装置)機能を搭載したウォシュレットを完備している。また、清掃性に配慮して乾式清掃を採用し、大便器と小便器は床の清掃性に優れた壁掛式を採用している。さらに、床材は巾木の高さまで立ち上げて壁と床の継ぎ目をなくしている。